

# 夜間講座 百虫百色 ～虫を知れば世界が広がる～【連続5回】

いずれも木曜  
18時30分～20時

第1回～4回 申込不要・無料 / 1回毎に参加可能

日時	テーマ	講師
08年 12月11日	「昆虫の系統～目(もく)までの分類～」	大原 昌宏 氏 (北海道大学総合博物館准教授)
12月18日		
09年 1月 8日	「ハモグリガの生活」	久万田 敏夫 氏 (北海道大学元教授)
1月15日	「ハエのはなし」	諏訪 正明 氏 (北海道大学名誉教授)

**会場** 札幌市博物館活動センター講義室 (交通案内: 次ページ)

**対象** 高校生～大人一般 **定員** なし (イス40席)

第5回 申込締め切り: 1月12日(月・祝)必着

09年 1月22日 「昆虫標本の作り方講座」 神戸 崇氏・佐野 正和 氏 (北海道大学大学院農学研究所)

**会場** 札幌市博物館活動センター実習室 (交通案内: 次ページ)

**対象** 高校生～大人一般 **定員** 20人 ※多数時抽選。

第5回のみ  
**申込方法** ハガキ、FAXに行事名、郵便番号、住所、氏名(参加希望者全員を列記、フルネーム)、年齢(学年)、電話番号をご記入の上、札幌市博物館活動センター(次ページ下段)まで。(個人情報厳重に保管し、行事終了後直ちに破棄しております。)

## 小さな生きもの、大事な宝もの ～札幌産カタツムリの飼育&観察日記～

Note. 3  
秋

### 産卵、そして赤ちゃん誕生

昨年、『カタツムリは土を掘って卵を産む』と書かれた本を読みました。「卵を産むところを見てみたい、赤ちゃんカタツムリはとても小さくてかわいいのだろう…」私はこんな事を期待しつつ、いつ卵を産んでも良いようにと、飼育ケースに土の入った鉢を入れておきました。

すると、交尾は観察できませんでしたが、8月の中旬、2匹のサッポロマイマイが土に頭をつっこんで、もぞもぞ動いている様子に気がつきました。産卵しているようです。カタツムリは頭と足で土を掘り、頭の横にある穴から卵を産み落とします。卵の大きさは直径約3mm、つやつやと白く、まるで小さな真珠のようです。1匹は53個を、もう1

匹は11個の卵を産みました。そして、5～8週後に次々とふ化し、卵と同じ大きさの殻を背負った“ミニチュア・カタツムリ”、サッポロマイマイの赤ちゃんが30匹誕生しました。

1年たった今、赤ちゃんカタツムリたちの殻は、1巻き半から3巻きへと、殻の直径は8mmほどに大きくなり、うずまき模様もはっきり見えるようになってきました(写真)。✓



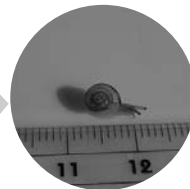
せいよく  
生殖こう  
(卵を産む穴)  
普段は目立ちませんが、  
交尾や卵を産む時期になると  
白っぽくなります。

(イラスト: 相馬絵美)

卵の殻をくっつけたままの  
赤ちゃんカタツムリ  
(07年9月26日)



約1年後



(08年11月4日)

このように小さな命がたくさん生まれましたが、飼育環境があわずに死んでゆくカタツムリもいました。また、大きく育っても、厳しい冬を越えられないものもいます。野生ではもっと厳しい環境にさらされ、死んでしまう数はさらに増えるでしょう。

博物館活動センターでは、飼育中に命を落としたカタツムリを標本として大切に保存しています。野外で採集した殻とあわせて、札幌産のカタツムリの種類や特徴が分かり

やすいように整理し、皆さんに見てもらえるようにしています。小さなカタツムリも、将来にわたって札幌の自然環境を伝える、まさに大事な宝ものとなるのです。(相馬)



展示中!

\*カタツムリの殻を提供して  
いただいている皆様、ありがとう  
ございます。

◀ 札幌周辺のカタツムリの殻

# 企画展のお知らせ



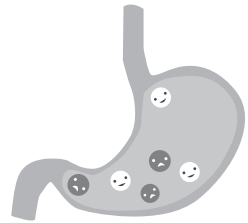
## 第26回ミュージアム企画展 消化管体験ツアー展

今年は私達の胃袋では何が起きている？  
日本の“胃袋”は大丈夫？！

12月13日(土)～'09年1月8日(木)

会場 札幌市博物館活動センター展示室 【入場無料】

主催 「消化管体験ツアー」展示企画プロジェクト(北海道大学学生による企画)



## 第27回ミュージアム企画展

### われら西岡調査隊～西岡ヤンマ団・植物調査合同報告展

'09年1月10日(土)～2月28日(土)

会場 札幌市博物館活動センター展示室【入場無料】

主催 (財)札幌市公園緑化協会西岡公園事務所

### 企画展関連 報告会 '09年1月10日(土) 13時～15時 申込不要・参加無料

会場 札幌市博物館活動センター講義室 対象 小学生～一般

#### プログラム

- 13時～13時45分頃
  - 西岡と羊ヶ丘の植物
  - 植物調査からみえたこと(発表者：調査参加者)
- 13時50分頃～15時
  - 西岡のトンボ調査の歴史
  - 西岡ヤンマ団の活動報告、分布調査からみえたこと(発表者：ヤンマ団団員の小中学生)

## 休館のお知らせ

# 12月28日～1月5日

年末年始にかけては、勝手ながら休館とさせていただきます。



## 札幌市博物館活動センターご利用案内

【開館時間】10:00～17:00 【入館料】無料 【休館日】日・月曜日、祝日、年末年始

【住所】〒060-0001 札幌市中央区北1西9丁目ライオンプラザ5F

【電話】011-200-5002 【FAX】011-200-5003 【Eメール】museum@city.sapporo.jp

● 駐車場はありません。公共交通機関でおこしください。

〈地下鉄〉東西線西11丁目駅4番出口から徒歩5分

〈市電〉西8丁目または中央区役所前電停下車徒歩8分

〈バス〉北1条西7丁目バス停降車徒歩3分

## 編集後記

来館者数 **59,037** 人 (2008年10月末現在)

2008年をふりかえると、昆虫のニュースが多かった年でした。「セミの発生が少ない」「ガが異常発生している」「もともと北海道にいなかったカマキリが見られるのは温暖化の影響?!」など、気にし始めると今まで見えていなかったことが見えてきて、今年だけが「異常」に見えてしまっている可能性もあります。当センターのセミの抜け殻調査もそうですが、継続して調査し、冷静に科学的に見ていく必要もあると思います。(ま)



さっぽろ市  
03-K04-08-181  
20-3-75



ミュースレターは、再生紙および大豆油インクを使用しています。